

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和元年 12 月
海老名市立有馬中学校**

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学, 英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

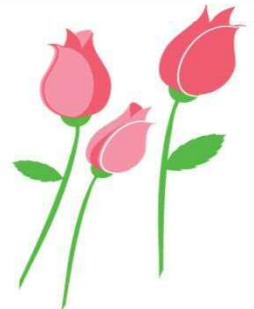
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成31年4月18日(木)



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
- ・封筒の書き方を理解して書く
- ・話合いの話題や方向を捉える
- ・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
- ・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
- ・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
- ・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 問題中から短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書き、それについて感じたことや考えたことを具体的に書くこと
- 意見文の下書きに書き加える言葉として、適切なものを選択すること

◆課題のある点

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること
- 例えば「インターネット」のことを「ネット」いうなど、語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解すること
- 封筒の書き方を理解して書くこと

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明らかにして自分の考えをまとめる指導；
読書経験を増やすと共に、文章の構成や展開、表現の仕方について分析するとともに、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果を考えたりするように指導すること
- 手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさ、配列などに注意して書く指導；
相手を具体的に定め、実際に手紙のやり取りを行わせる。その際、表書きの宛て名や住所などを正しく書くことや、後付けにおける署名と宛て名の位置関係といった基本的な形式を押さえることなど、小学校での学習を想起するように指導すること
- 具体的な場面や状況に基づいて考える語句の指導の工夫；
実際に話したり書いたりする学習で、言葉の受け手の状況を予測したり反応を確かめたりしながら、どのような表現を用いると、自分の伝えたいことがよりの確に伝わるのかを考えながら表現するように指導すること

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数の集合と四則計算の可能性について理解している
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
- ・平行移動の意味を理解している
- ・反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる
- ・簡単な場合について、確率を求めることができる
- ・グラフ上の点 P の y 座標と点 Q の y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
- ・反例の意味を理解している
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
- ・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
- ・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
- ・事柄が成り立つ理由を説明することができる
- ・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 図形問題で、図が示していることが予想とは違っていることを説明する問題で、正しいものを選ぶこと
- 連続した5つの奇数の和が、中央の奇数の5倍になることの説明を完成すること

◆課題のある点

- ヒストグラム等の資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- 分かったことの根拠となる値として適切なものを選ぶことや、問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断すること

今後の具体的な指導改善のポイント

- 資料の傾向を捉えて、批判的に考察し判断した理由を、数学的な表現を用いて説明できるようにする；
日常生活や社会の事象における問題に対して、目的に応じてデータを収集し、ヒストグラムなどに整理し、そのデータの分布の傾向を読み取り、それに基づいて統計的に問題解決する活動を充実させること
- 代表値の必要性和意味を理解し、代表値をもとめることができるようにする；
目的に応じてデータを収集して整理し、データの傾向を読み取る活動を取り入れ、データの代表値を求めることができるように指導すること

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
- ・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
- ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
- ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
- ・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる
- ・一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
- ・一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
- ・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
- ・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- ある状況を描写する英語を聞いて、その内容に最も適している絵を選択すること
- 状況を説明する英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択すること
- 家庭での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択すること

◆課題のある点

- 英文の中で適切に接続詞「if」を用いること
- ある女性に関する与えられた情報から、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと

今後の具体的な指導改善のポイント

○文の中で適切に接続詞を用いることができるようにする；

- ・文脈で適切な接続詞が用いられている文を見て、その使い方ができる指導すること
- ・2つの文の意味を考えた上で、適切な接続詞を用いて1つの文を作る活動を充実すること
- ・適切な接続詞を用いて主節に続く従属節を作文する活動を充実すること
- ・日本語と英語を比較しながら、主節と従属節の関係を考えるなど、英語の文構造を理解できる指導をすること

○語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるようにする；

- ・憧れの人物や友達紹介など、3人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして様々な場面で繰り返し使用する活動を充実させること
- ・生徒同士で書いたものを互いに読み合い、誤りに気付き、修正を加える活動をする
- ・「○○出身です。」のように、省略される主語が何であるかを理解できる指導をすること

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語、英語の勉強が好きだという回答が多いこと
- 数学、英語の勉強は大切だと考えているという回答が多いこと
- 数学、英語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと考えているという回答が多いこと
- 英語の授業はよく分かると感じているという回答が多いこと

◆本校の課題と思われるところ

- 家で自分で計画を立てて勉強をしているという回答が少ないこと
- 新聞を読んでいないという回答が多いこと
- 授業で学んだことを、他の学習に活かしているという回答が少ないこと

生活について

◆本校のよかったところ

- 学校に行くのは楽しいと思っているという回答が多いこと
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるという回答が多いこと
- 学校の規則を守っているという回答が多いこと

◆本校の課題と思われるところ

- 自分には、良いところがあると思うという回答が少ないこと
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているという回答が少ないこと
- 人が困っているときは、進んで助けているという回答が少ないこと

今後の具体的な取組について

- 誰もが分かりやすく、意欲的に取り組める授業を行います。
有馬中学校職員全員でユニバーサル・デザインを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的な深い学びができる授業法を研究し、実践します。
- 体育祭・合唱祭で生徒自らが計画・運営をすることで、主体性や乗り越える力を育てます。
また、3学年が協力して活動することから、社会性を育成します。
- 総合的な学習の時間では、人間関係プログラムを実施することで、良好な人間関係の育成に努めます。また、広島修学旅行では平和やいのちの尊さについて学びます。
- 支援体制を組織的に行い、人間関係や個人の悩みに対して相談活動を充実させ、丁寧に対応します。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

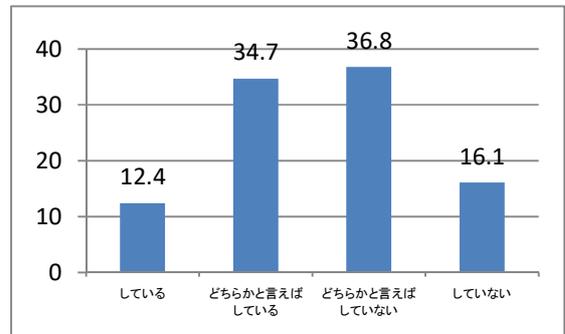
平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1

計画的な家庭学習を！

「早寝早起き」「朝ごはん」を踏まえた上で、十分な家庭学習の時間を確保できる生活リズムを確立させるようサポートをお願い致します。

学習の確実な定着には家庭学習が必要です。初めは少ない時間でも家庭学習をする姿を誉め、地道に努力する姿勢を育てましょう。



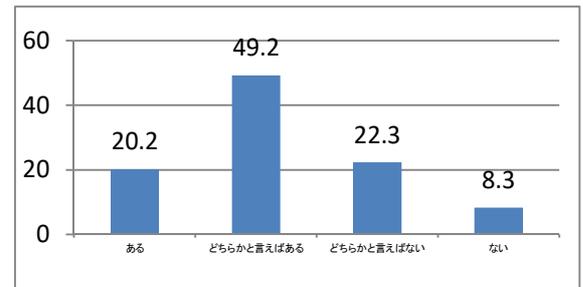
家で自分で計画を立てて勉強している

2

自尊感情を高める対話を！

自分らしく、生き生きと生活していくためには自尊感情は不可欠です。

仲間と比べたり、兄弟と比べたりして自分に自信を失いがちなこともあるこの時期です。是非、家庭の中でも本人の長所を認めたり、自信が高まる対話・会話が持たれると良いと思います。どんなに小さなことでも結構です。「今更」「照れくさい」「わざわざ」とおっしゃらずに、是非実践してください。



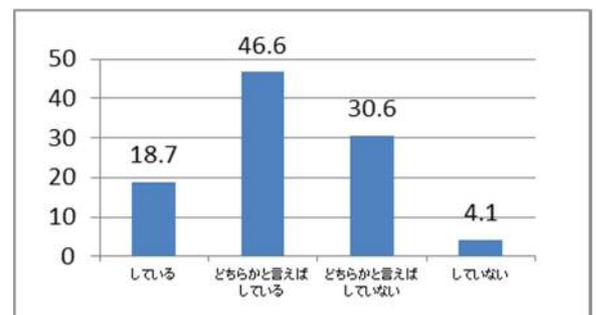
自分には良いところがある

3

チャレンジの後押しを！

「失敗すると叱られる」「失敗すると格好悪い」といった不安があるのかもしれませんが。「失敗は成功の母」とも言われます。仮に失敗しても、特に若いうちは何度でもやり直しがききます。又、失敗の原因を分析し、課題を突き止め、地道に取り組み、再チャレンジすることで道が開けていくことは多々あります。

「迷った時には取返して厳しい挑戦をすることを選ぶ」ことを信条にさせるくらい、背中を押してあげてください。



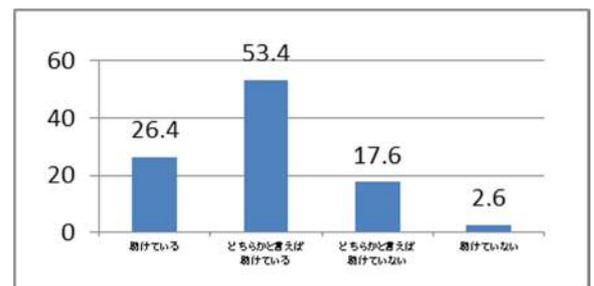
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している

4

意図的な仕事・役割の分担を！

学校行事を終えると目に見えて、生徒は成長しています。それぞれが責任を持って自分の分担を果たして大きな目標を達成した後には、他の役割を担った仲間への感謝の気持ちが溢れます。それと同時に、取り組み期間中の苦しい時に助けをもらい、協力してもらったことへの感謝の気持ちを自分の口からも、文章でも表しています。

ご家庭においても、是非責任を持って取り組まなければならない役割分担をしていただき、助け合い・思いやり・気遣いの大切さを実感させていただきたいと思います。



人が困っている時に、進んで助けている

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人とは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係